

令和8年度 大田区立梅田小学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

令和8年9月1日

○令和8年度よりコミュニティスクールとして学校運営協議会を発足 ○開校72周年 児童数933名(9月1日現在) ○学級数29学級 特別支援教室(5担任)拠点校 ○教職員数75名:校長1 副校長2 教員41名 養護教諭2 栄養士1 事務1 専門員1 都費講師6 事務補助2 副校長アシスタント1
学校講師1 学校特別補助員2 教員支援員1 読書学習司書1 学習補助員5 理科支援員2 登校支援員3 (民託:用務員3 児童誘導員2 施設管理員3 給食5 ALT2)
○令和2～4年度 東京都教育委員会・大田区教育委員会における情報教育やICT教育の推進 ○令和8年度 こどもの「生きる力」をはぐくむプログラム～大田区における特色ある教育の推進～」 こどもの主体性を伸ばし、こどもと共に創る学校をめざ
○今年度の梅田のスローガン「挑戦し続けよう 成長し続けよう 失敗など存在しない～Keep Challenging. Keep Growing. There is no Failure.～」 ○こども主体の梅田3大フェスタ(スポーツ・ミュージック・アート)の実施 ○課題追及的な学び ○知も心も交わる授業 ○自治的活動の充実 ○教育活動の見直し ○学習環境の整備

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄								
								評価	人数	コメント						
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育未 成来 社し 会を 創 造 的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		A 学習する際、「タブレット」端末を日常的に活用している。」と回答した児童の割合	4: 90%以上		A		「コメント」は、学校運営協議会から出た意見を取りまとめて記入する。						
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。													
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		B 授業の終わりに学習の振り返りをしている。	3: 80%以上		B								
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。													
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			2: 70%以上		C								
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。													
						1: 60%未満		D								
お世個 お界別 たと目 をつ標 担な2 うが 人る 材国 を際 育都 成市 します	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		A 友達と仲良くしている。 B 友達と協力して学習している。	4: 90%以上		A								
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。													
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			3: 80%以上		B								
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。													
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			2: 70%以上		C								
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。													
						1: 60%未満		D								
た一個 め人別 のひ目 基と標 礎り3 とが な個 る性 力とを 能力 成を し発 揮する	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		A 授業の内容を概ね理解している。 B健康に気を付けて生活している。	4: 90%以上		A								
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。													
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			3: 80%以上		B								
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。													
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			2: 70%以上		C								
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。													
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			1: 60%未満		D								
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。													

学 校 別 力 ・ 標 教 4 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・学校公開時の保護者アンケートにおける 定期的授業評価の割合	4: 90%以上				A		
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		3: 80%以上						
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。		2: 70%以上						
					1: 60%未満						
た 自 個 め 分 別 の ら 目 学 し 標 び く 5 を い 支 き 援 い き ま す と 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えらるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・「自分にはよいところがある。」と回答した児童の割合	4: 90%以上				A		
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満の教員が回答した。 2: 60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。		3: 80%以上						
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		2: 70%以上						
					1: 60%未満						
安 柔 個 心 軟 別 な で 目 教 創 標 育 造 6 環 的 境 な を 学 っ 習 く 空 間 と 安 全 ・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・保護者アンケートによる学校評価における学校満足度の割合	4: 90%以上				A		
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		3: 80%以上						
					2: 70%以上						
					1: 60%未満						
学 地 学 校 域 校 別 を コ ・ 目 つ ミ 家 標 ク ュ 庭 7 リ ニ ・ マ テ 地 す イ 域 の 核 連 と 携 し て 協 働 に よ る	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・保護者アンケートによる学校評価における学校満足度の割合	4: 90%以上				A		
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		3: 80%以上						
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		2: 70%以上						
					1: 60%未満						

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す